



主要な農作物の生育情報

令和元年度 第12号

(令和2年3月6日)

福島県農林水産部農業振興課



【小麦】

暖冬の影響により、生育は全体に早まっています。

農業総合センター本部（郡山市）における小麦の生育ステージは、幼穂形成始期が1月第2半旬となり平年より18日早まり、節間伸長開始期も2月3半旬となり平年より36日早まりました。農業総合センター浜地域研究所（相馬市）では、降雨による播種遅れやその後の乾燥等により出芽期が大幅に遅れましたが、幼穂形成始期は3日の遅れ、節間伸長開始期は平年並～やや早まる見込みです。農業総合センター会津地域研究所（会津坂下町）においても幼穂形成始期は平年より早まる見込みです（表1）。

生育は、平年に比べ草丈が長く、葉齢が多くなっています。本部では節間伸長開始期を過ぎているため、茎数が平年より少なくなっています（表2）。

表1 農業総合センターにおける小麦の生育ステージ

調査場所	品 種	は種期 (月.日)	出芽期 (月.日)	幼穂形成始期 (月.日)	節間伸長開始期 (月.日)	出穂期 (月.日)
郡 山	きぬあずま	10.17(-2)	11.1(+4)	1.10(-18)	2.12(-36)	(平年値4.26)
会津坂下	ゆきちから	10.3(-1)	10.11(-3)	(平年値3.20)	(平年値4.7)	(平年値5.9)
相 馬	きぬあずま	11.1(+7)	12.2(+27)	2.6(+3)	(平年値3.13)	(平年値4.26)

※農業総合センター本部（郡山市）および、同会津地域研究所（会津坂下町）、浜地域研究所（相馬市）の調査による。（ ）内の数字は平年差、平年値。

表2 農業総合センターにおける小麦の生育状況（3月1日）

調査場所	品 種	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (葉)
郡 山	きぬあずま	33.7(152)	794(77)	8.8(+2.3)
会津坂下	ゆきちから	—	—	—
相 馬	きぬあずま	22.3(108)	1,103(91)	7.0(0)

※調査場所は表1に同じ。（ ）内の数字は平年比。

郡山は令和2年3月3日、相馬は令和2年3月2日の調査結果。

【野菜】

1 秋冬にら

現在の中通りの収穫は、概ね平年並に2年株は4番刈り、1年株は3番刈りとなっています。温暖であったことから順調に生育しており、収穫は3月中下旬まで続く見込みです。病害は、一部で白斑葉枯病が発生しています。

2 いちご

生育は概ね平年並で、第1次腋果房の収穫後半から第2次腋果房の開花結実期を迎えています。温暖であったことから、果実の着色は順調に進み、やや小玉傾向となっています。病虫害は、一部ほ場でハダニ類、うどんこ病が発生しています。

【果 樹】（3月3日現在 福島県果樹研究所）

今後の気温が平年より2℃高く経過した場合、もも「あかつき」の発芽は3月14日頃で平年より11日早く、なし「幸水」の発芽は3月28日頃で平年より5日早く、りんご「ふじ」の発芽は3月20日頃で平年より8日早いと予測されます。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるので注意してください。

表3 発芽予測日 [予測方法：発育速度（DVR）モデルによる発育予測]

	発芽日		今後の気温経過		
	昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
あかつき	3月20日	3月25日	3月17日	3月14日	3月21日
幸水	3月25日	4月2日	4月1日	3月28日	4月5日
ふじ	3月22日	3月28日	3月24日	3月20日	3月29日

注) 発芽日の平年は1986～2015年の平均値。

【花 き】

1 ストック

一部の産地の春彼岸出荷作型で暖冬の影響により開花が前進しています。出荷は一部の産地で始まっており3月中下旬まで続く見込みです。

2 ユキヤナギ

現在、病害虫の発生もなく、生育や開花状況は例年どおりで計画的に出荷が行われており、出荷は3月まで続く見込みです。

3 サクラ類

トウカイザクラやケイオウザクラの出荷が行われています。出荷は順調に進んでおり、3月下旬には終了する見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>